opusdei.org

## エドワルドとラウ ラ、永遠の愛

2023/07/29

エドワルド・オルティス・デ・ラン ダスリは、1910年10月31日にセゴビ アで生まれました。マドリードで医 学を学びました。

ラウラ・ブスカ・オタエギは、1912 年11月3日にスマラガで生まれました。彼女は1935年にマドリードのセントラル大学(Universidad Central de Madrid)の薬学部を卒業しました。

その年、ラウラとエドワルドは初めて知り合います。6年後の1941年6月17日、彼らはアランツァスの聖母の古聖堂(el santuario viejo de la Virgen de Arantzazu)で結婚しました。

1946年、エドワルドは一般病理学の教授職を得ました。1958年9月には、ナバラ大学の新しい医学部に加わり、定年退職するまで同大学の医学部と病院で献身的に働きました。

ラウラとエドワルドは7人の子供を もうけ、喜びに満ちたクリスチャン の家庭を築きました。

1952年6月1日、エドワルドはオプス・デイへの加入を申請しました。 しばらくして、1953年1月8日にラウラも自分の召命を見出し、オプス・デイに加わりました。

エドワルドは家庭での務めを大切にし、医師と大学教授としての仕事を通じて神を探しました。特に彼の病人への愛は際立ち、彼らの内にイエス・キリストを見ていました。エドワルドの周囲には平和と喜びの雰囲気が漂っていました。彼は1985年5月20日に聖性の誉れを持って亡くなりました。

ラウラの生涯は、夫と子供たち、そして多くの他の人々に対する非常に 寛大な奉仕によって特徴付けられて いました。彼女の行動は、堅固で深い信心から湧き出る、神と他者への 愛に支えられていました。彼女は 2000年10月11日にパンプローナで聖 性の誉れを持って亡くなりました。

エドワルドの列聖手続きは1998年12月11日に開始され、ラウラの手続きは2013年に開始されました。

2015年6月22日、ラウラ・ブスカの生涯、徳、および聖性の誉れについての教区手続きが終了しました。現在、エドワルドとラウラについての資料と証言はローマの列聖省で審査されています。

この段階では、各人の徳の実践は 別々に審査されます。ただし、両者 の徳の英雄性が証明されれば、エド ワルドとラウラ夫妻による取り次ぎ による奇跡を一つ証明するだけで、 両者が福者として宣言されることが 可能となります。 このようにして、ラウラとエドワル ドは、列聖される可能性のある夫婦 のリストに加わることができます。

ローマ教皇庁いのち・信徒・家庭省 (Dicastery for the Laity, the Family and Life) は2022年5月に、結婚と 家族への召命の美しさを聖性の道と して示すために『Holiness in Families around the World 』(世界 における家族の聖性)を出版しまし た。この本は8組の聖なる夫婦の生 涯を紹介しており、エドワルド・ラ ウラ夫妻はその中の一組として登場 します(幼きイエスの聖テレジアの 両親、永井隆・緑夫妻、オプス・デ イのトマス・パキータ夫妻も紹介さ れています)。書籍のPDF版(英 語、スペイン語、フランス語、イタ リア語、ポルトガル語)は、いの

## ラウラとエドワルドの取り次ぎを願 う私的信心の祈り

主の祈り、アヴェ·マリアの祈り、栄唱

(教皇ウルバノ八世の教令に従い、 教会当局の判断を予想したいかなる 事前行為をも行う意図のないこと、 また、ここに記載された祈りは公的 崇敬のためではないことを宣言しま す。)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/edowarudo-to-raura-eien-no-ai/(2025/11/26)